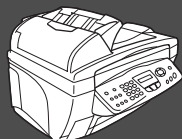
brother

かんたん設置ガイド　MFC-3420J

本機を使用するには本機の準備を行い、お使いのパソコンにドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。
正しく動作させるために、この「かんたん設置ガイド」の詳細な情報を必ずお読みになり準備を行ってください。

Step 1

本機の準備を行います

Step 2

パソコンにドライバとソフトウェアをインストールします

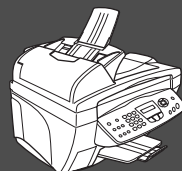
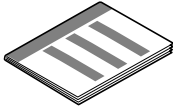
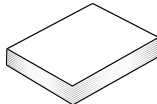
準備完了！

本機の準備

パソコンにドライバとソフトウェアをインストールします

Windows® USB

Mac OS® 8.6-9.2

Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降

このたびは、当社の商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、下記お客様相談窓口（コールセンター）にお気軽にお申し付けください。

お客様相談窓口（コールセンター） 0120-143410

●受付時間／ 9:00 ～ 18:00（土曜日のみ 17:00 まで）
●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

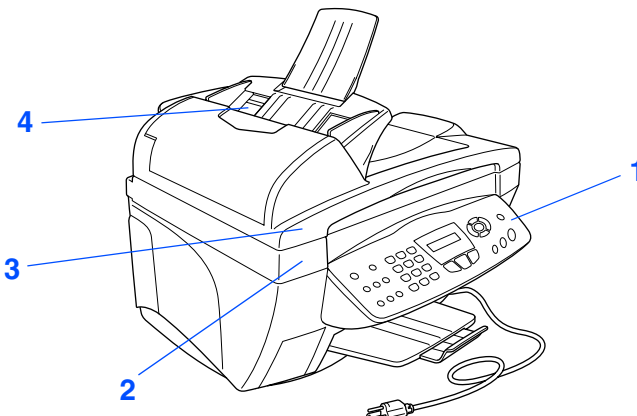
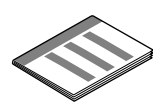
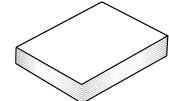
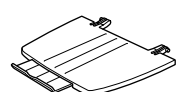
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

VersionA

■商品を確認します

取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

かんたん設置ガイド（本書）	**必ず本書からお読みください。** 本機をお使いいただくための準備について記載しています。
取扱説明書	ファクス、コピー、本機のお手入れ、困ったとき、などについて記載しています。
取扱説明書〜パソコン活用編〜	**「PDF マニュアル」が付属の CD-ROM に収録されています。** プリンタ、スキャナなど、パソコンと接続して使う機能について記載しています。

■本機は情報処理装置等電波障害自主規制評議会（VCCI）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
■本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お客様相談窓口（コールセンター）0120-143410 までご連絡ください。
■お客様または第三者が本製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（0120-118-825）へご注文ください。（土、日、祝日、長期休暇を除く 9:00~17:00）

本書で使用されている記号

警告	注意	補足	取説参照
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。	補足、参考内容を記載しています。	取扱説明書を参照する内容を示しています。

付属品を確認します

次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りないものがあったり取扱説明書に落丁があったときは、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。

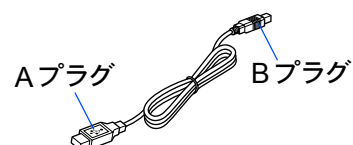
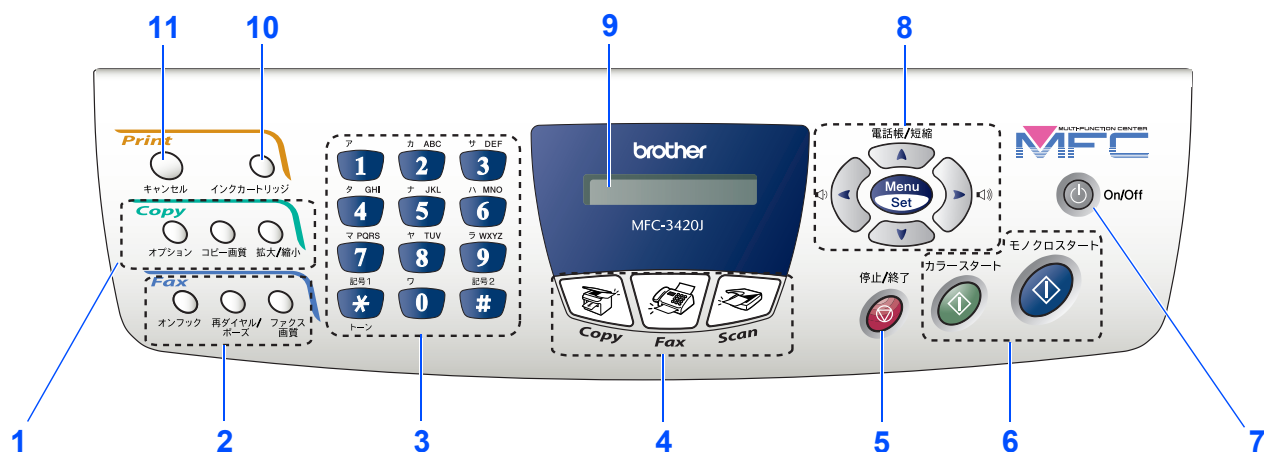
1. 操作パネル
2. 本体カバー
3. 原稿台カバー
4. ADF(自動原稿送り装置)

かんたん設置ガイド（本書）	CD-ROM
取扱説明書	記録紙トレイ
排紙トレイ	電話機コード
3 極 -2 極変換アダプタ	

インクカートリッジ（4 個）

ブラック	マゼンタ	イエロー	シアン
(LC08BK)	(LC08M)	(LC08Y)	(LC08C)

本機とパソコンをつなぐインターフェースケーブルは同梱されておりません。下記のケーブルをご購入ください。

■ USB ケーブル
USB ケーブルは市販のものをお使いください。
長さが 2.0m 以内の USB ケーブルをおすすめします。

操作パネル

1. コピー機能ボタン	5. 停止 / 終了ボタン	9. 液晶ディスプレイ
2. ファクス / 電話機能ボタン	6. モノクロ / カラースタートボタン	10. インクカートリッジボタン
3. ダイヤルボタン	7. 電源ボタン	11. キャンセルボタン
4. モードボタン	8. ナビゲーションキー	

詳しくは取扱説明書「1 章　各部の名称とはたらき」の「操作パネルの名称とはたらき」を参照してください。

目　次

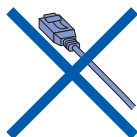
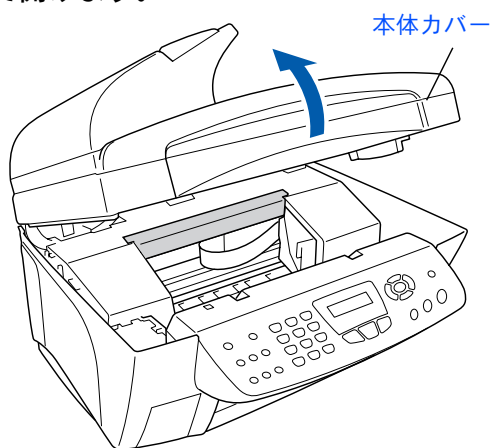
Step 1　本機の準備を行います

Step 2　ドライバとソフトウェアをインストールします

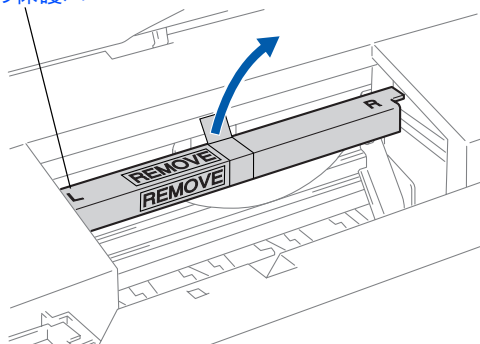
Step 1 本機の準備を行います

1 保護部材を取り外します

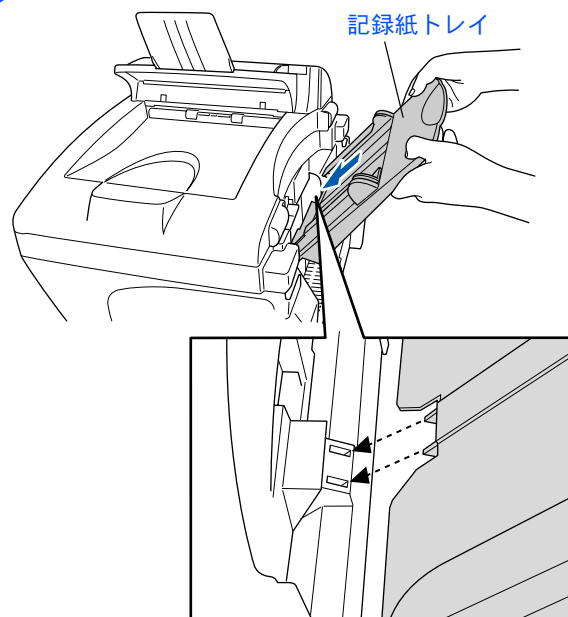
1 密封テープをはがし、本体についている保護用のフィルムや紙などを取り除きます。

注意	この時点では USB ケーブルは接続しないでください。

2 本体カバーを持ち上げ、ロックする位置まで開けます。

本体カバー

3 本機から黄色の保護バーを引き抜きます。

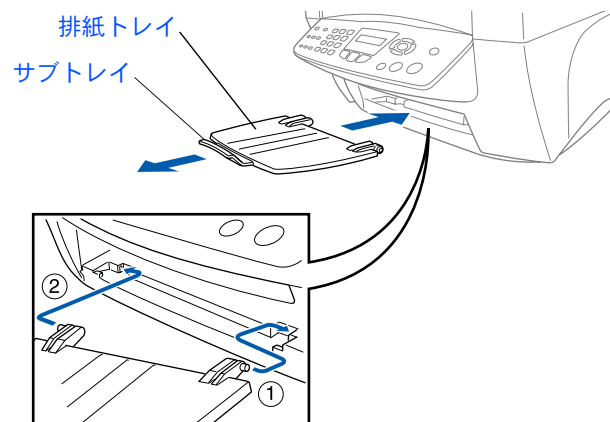
黄色の保護バー

4 本体カバーを閉じます。

2 記録紙トレイ、排紙トレイを取り付けます

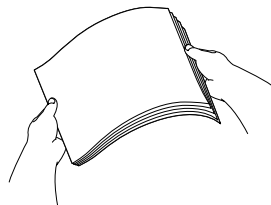
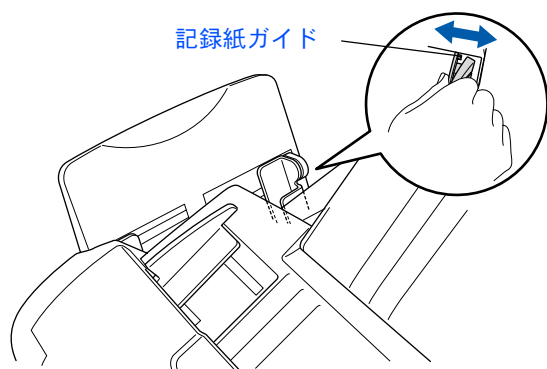
1 本機背面に記録紙トレイを取り付けます。

記録紙トレイ

2 排紙トレイを取り付け、サブトレイを引き出します。

排紙トレイ

サブトレイ

3 記録紙をセットします

■記録紙トレイには、A4（80g/m^2 の普通紙）約 100 枚までセットできます。詳細については、取扱説明書「2 章 ご使用前の準備」の「セットできる最大枚数」を参照してください。

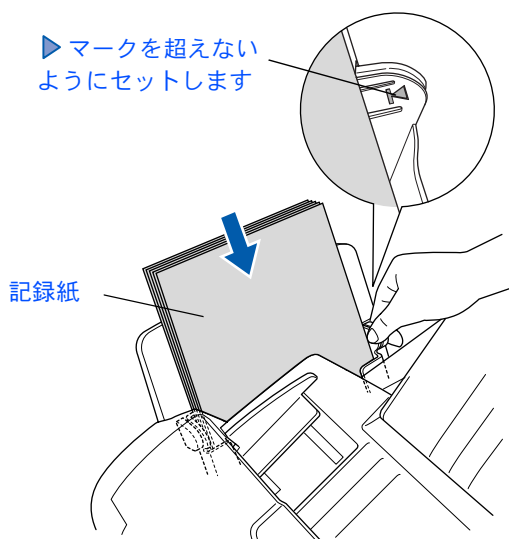
1 用紙づまりや給紙ミスを防ぐために、記録紙をよくさばきます。

2 記録紙ガイドを用紙の幅まで広げます。

記録紙ガイド

3 ゆっくりと記録紙をセットします。（100 枚まで）（強く押し込まないでください。）記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせます。

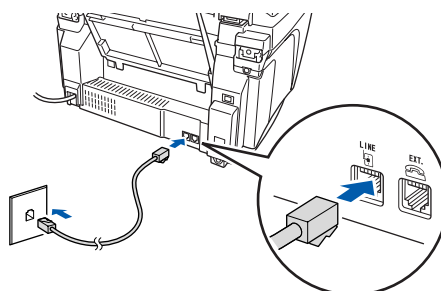
▷マークを超えないようにセットします

記録紙

4 電話機コードを接続します

注意

■この時点では、USB ケーブルは接続しないでください。

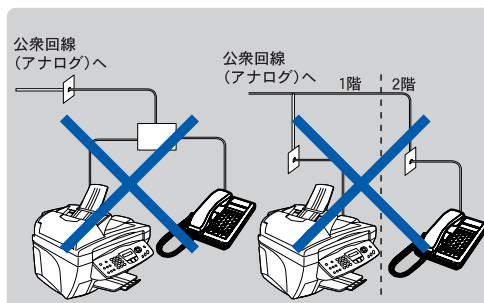
1 付属の電話機コードを本機の背面の「LINE」端子と壁側の電話機コンセントに差し込みます。

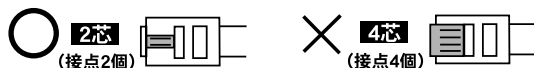
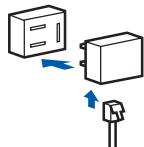
注意

■ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- 並列電話機から本機への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。

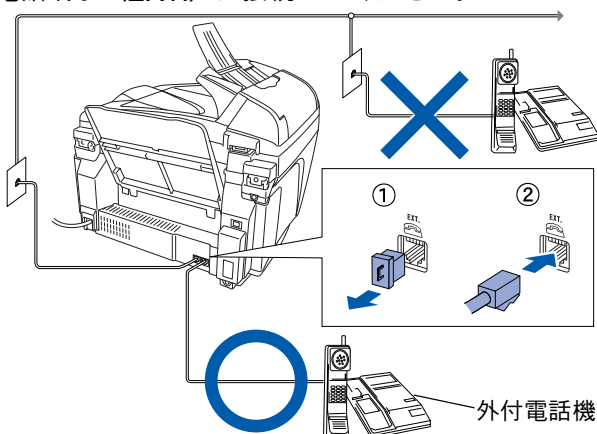
公衆回線（アナログ）へ

公衆回線（アナログ）へ

1階 2階

■付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

○ 2芯（接点2個）　× 4芯（接点4個）

■3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

■直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りの NTT 窓口（116 番）にお問い合わせください。

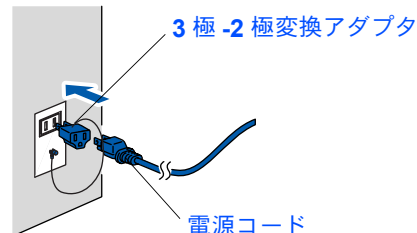
今お使いの電話機を外付電話機としてご使用になる場合は、キャップをはずしてから本機の背面の外付電話端子（EXT.）に接続してください。

① ② EXT. EXT.

外付電話機

・取扱説明書では、本機に接続した電話機を外付電話機と呼んでいます。

■外付電話機を接続し、電話番号 1 つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切換えに設定することをお奨めします。
■お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、最寄りの NTT 窓口（116 番）にご相談ください。
■ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ソトヅケ デンワ　ユウセン」に設定してください。
■外付電話端子（EXT.）に接続できる端末（電話機など）台数は 1 台です。

5 電源コードを接続します

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。電源が入ると、自動的に回線種別の設定が始まります。

3 極 -2 極変換アダプタ

電源コード

注意

■感電や火災防止のため、電源コードおよび 3 極 -2 極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。
■感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

a 回線種別の自動設定が始まります。　カイセン チェック チュウ

b 自動設定が終わると、右記のいずれかの設定された回線種別が 2 秒間、液晶ディスプレイに表示されます。　プッシュ カイセン デス／ダイヤル 10PPS デス／ダイヤル 20PPS デス

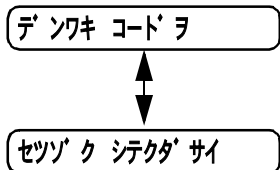
c 回線種別が自動で設定されると、右記の画面が表示されます。　カートリッジ ヲ カクニン

引き続き、12 ページの「インクカートリッジを取り付けます」へ進んでください。

■構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。
■回線によっては自動で正しく判別できないときがあります。そのときは、あとで手動で回線種別を設定します。
次ページの「手動で回線種別を設定する」を参照してください。
■本機を、電話回線に接続せずに使用する（コピー、プリンタ、スキャナなどとして使用する）ときは、手動で回線種別を「ダイヤル 20PPS 」に設定します。
次ページの「手動で回線種別を設定する」を参照してください。

● こんなメッセージが表示されたときは

■ 右記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

デ ンワキ コード ヲ
セツゾ ク シテクダ サイ

電話器コードを接続しない場合は 停止/終了 を押してください。

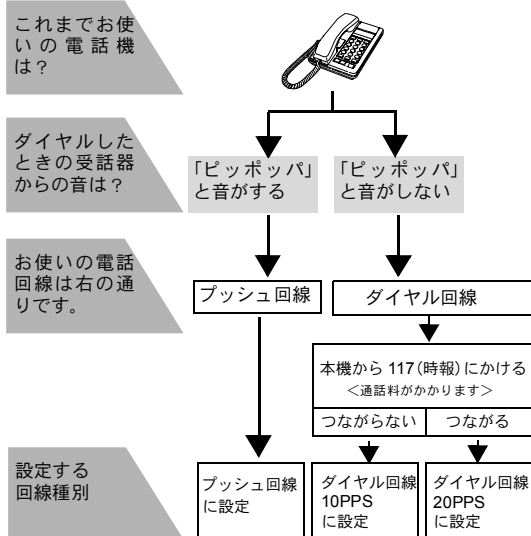
■ 自動で回線種別が設定できなかったときは、上記のメッセージが表示されます。「手動で回線種別を設定する」を参照して、手動で回線種別を設定してください。

カイセンセッテイ シテクダ サイ

● 手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 利用している電話回線の種別を確認します。
回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りの NTT の支店・営業所または NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。

これまでお使いの電話機は？
ダイヤルしたときの受話器からの音は？：「ピッポッパ」と音がする／「ピッポッパ」と音がしない
お使いの電話回線は右の通りです。：プッシュ回線／ダイヤル回線
本機から 117（時報）にかける ＜通話料がかかります＞：つながらない／つながる
設定する回線種別：プッシュ回線に設定／ダイヤル回線 10PPS に設定／ダイヤル回線 20PPS に設定

■ 電話回線には「プッシュ回線」と「ダイヤル回線（10PPS または 20PPS）」の 2 種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。
■ 通話中は自動設定できません。
■ いったん、自動設定すると電源コードを差し込み直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

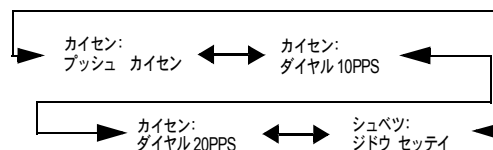
2 Menu/Set 0 4 を押します。　カイセン：プ ッシュ カイセン

3 ▲▼で回線種別を選択します。　4. カイセンシュベ ツ セッテイ
回線種別の表示を以下に示します。
- プッシュ回線のとき　　　　　：プッシュ　カイセン
- ダイヤル回線 10PPS のとき：ダイヤル　10PPS
- ダイヤル回線 20PPS のとき：ダイヤル　20PPS
- 自動設定を行うとき　　　　　：ジドウ　セッテイ

4 Menu/Set を押します。　ウケツケマシタ

5 停止/終了 を押して終了します。

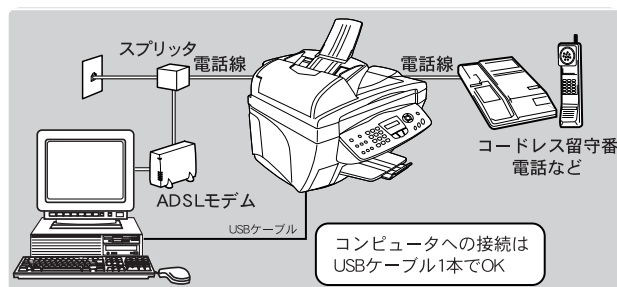
■ プッシュ回線をお使いの場合は、「プッシュ　カイセン」を設定してください。
■ 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
■ 回線種別を選ぶとき、▲▼を押すごとにディスプレイの表示は下記のように変わります。

カイセン: プッシュ カイセン ↔ カイセン: ダイヤル 10PPS ↔ カイセン: ダイヤル 20PPS ↔ シュベツ: ジドウ セッテイ

■ Yahoo! BB のモデムに接続する場合は、必ず NTT と契約されている回線種別へ手動で設定してください。自動で設定したままでは「110」、「119」やフリーダイヤル、携帯電話などの番号へ発信できない場合があります。

参考 本機の接続イメージ

本機に電話回線を接続する場合、使用方法に合わせて、いろいろな接続があります。以下に接続例を示します。他の機器の取扱説明書を参照して、正しく接続してください。

ADSL（タイプ 1）環境に接続する場合

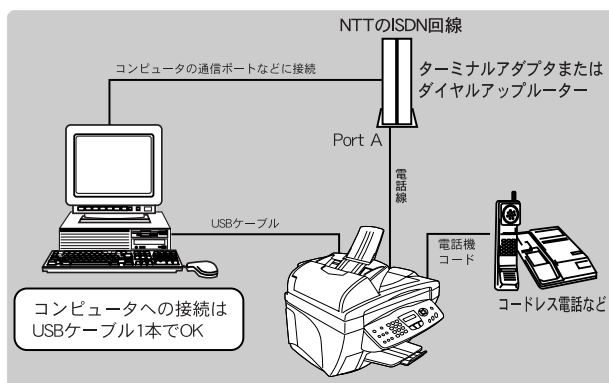
本機を ADSL 環境のスプリッタに接続するときは、スプリッタの TEL 端子に接続してください。

- ■ ADSL 環境に接続する場合の設定については、スプリッタの取扱説明書をお読みください。
- ■ 本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐するとブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。
- ■ スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。
- ■ ADSL 環境で IP フォンを使用している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」（9 ページ）を参照してください。
- ■ ADSL 回線で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- ■ IP 網を使用してファクス通信を行う場合は、お客様がご契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
- ■ IP 網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変更してください。取扱説明書「3 章　ご使用前の基本設定」の「安心通信モードを設定する」を参照してください。
- ■ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。

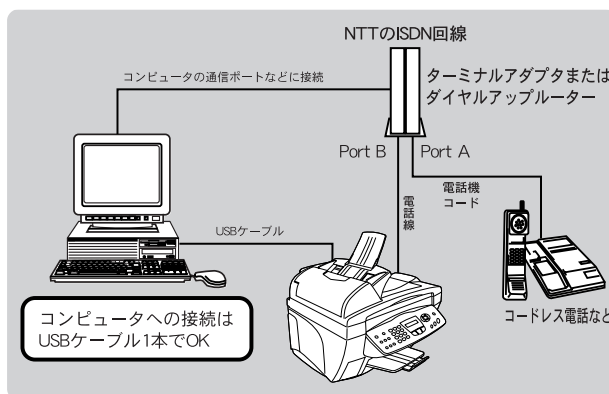
ISDN 回線に接続する場合

本機を ISDN 回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本機：
  回線種別を「カイセン：プッシュ」に設定する
- ターミナルアダプタ：
  本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

電話番号が 1 つの場合

本機を、ISDN 回線とパソコンに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

電話番号が 2 つの場合

本機を、ISDN 回線とパソコンに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

- ■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、取扱説明書「3 章　ご使用前の基本設定」の「特別な回線に合わせて設定する」を参照して、「ISDN」を設定してください。
- ■ ISDN 回線に接続する場合の設定については、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をお読みください。

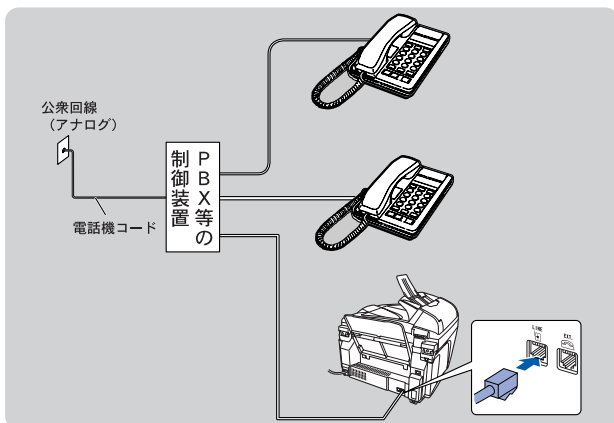
■ 本機が使用できないときは、取扱説明書「11 章　困ったときは」の「故障かな？と思ったら」を参照ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタのデータ設定と本機の設定が必要です。取扱説明書「3 章　ご使用前の基本設定」の「ナンバー・ディスプレイの設定をする」を参照してください。

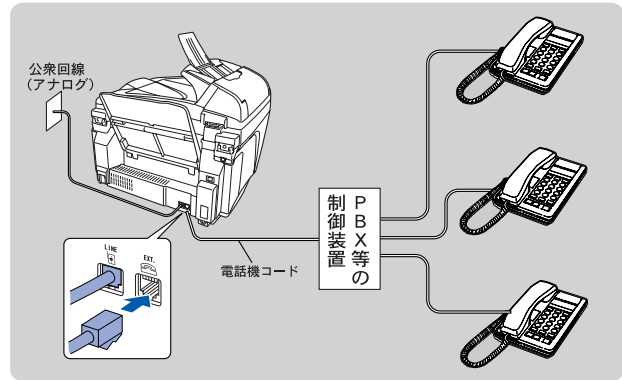
構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに内線接続する場合

構内交換機またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

また、制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれないので、「Off」に設定してください。取扱説明書「3 章　ご使用前の基本設定」の「ナンバー・ディスプレイの設定をする」を参照してください。

公衆回線（アナログ）
電話機コード
PBX等の制御装置

構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

本機と構内交換機を接続する場合は、外付電話端子（EXT.）に接続してください。内線接続をしたい場合は、「構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに内線接続する場合」を参照してください。

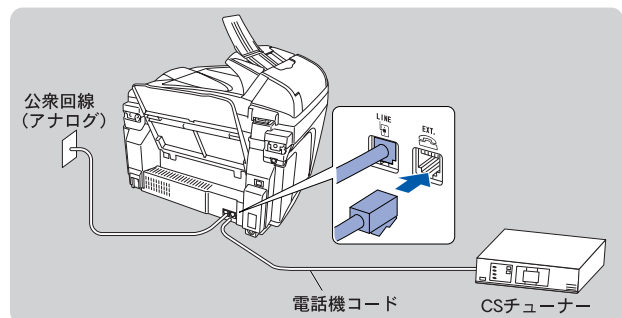
公衆回線（アナログ）
電話機コード
PBX等の制御装置

■ 構内交換機（PBX)・ホームテレホン・ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。

■ ビジネスホンとは
電話回線を 3 本以上収納可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。

■ ホームテレホンとは
電話回線 1 ～ 2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

CS チューナーを接続する場合

本機と CS チューナーを接続するときは、外付電話端子（EXT.）に接続してください。

公衆回線（アナログ）
電話機コード
CSチューナー

6 インクカートリッジを取り付けます

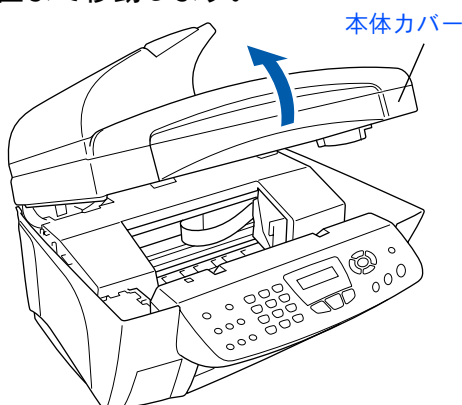
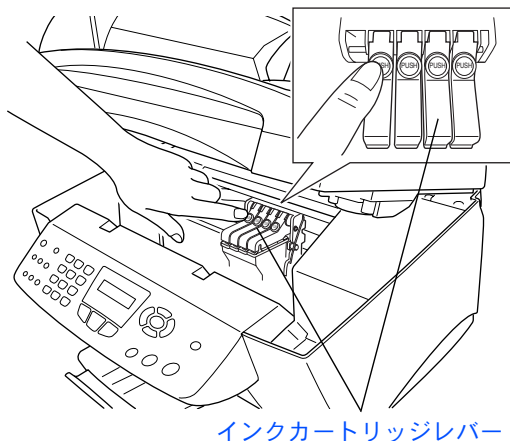
警告
誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

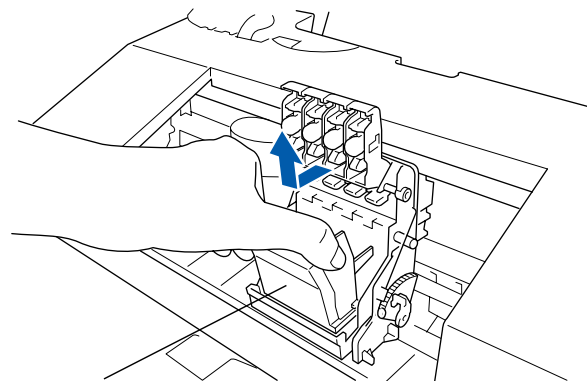
注意
■カートリッジを取り付ける前に、記録紙がセットされていることを確認してください。

1 電源コードがコンセントに差し込まれていることを確認します。
液晶ディスプレイには以下のように表示されます。

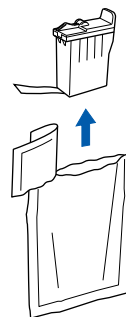
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ ｶｸﾆﾝ

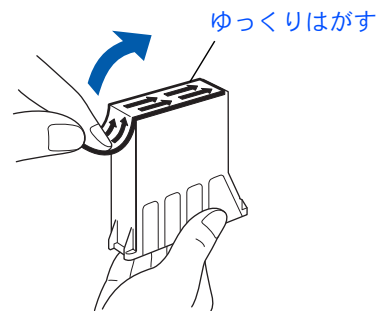
2 本体カバーを持ち上げ、ロックする位置まで開けます。
プリンタヘッドがインクカートリッジ交換位置まで移動します。

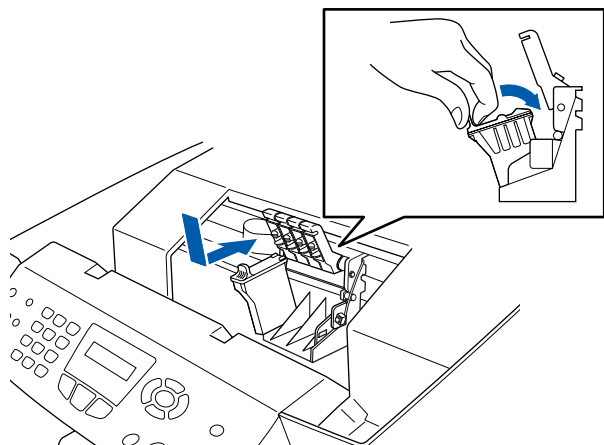
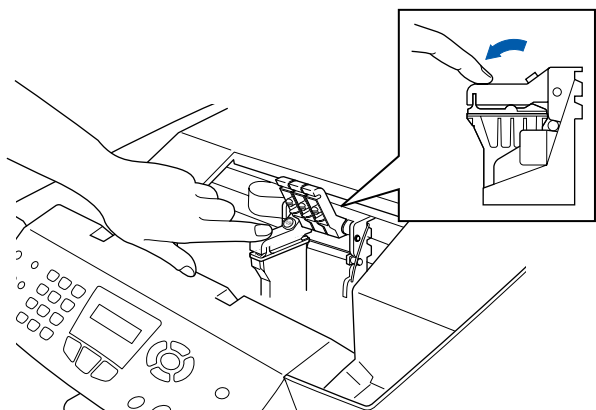
本体カバー

3 4色のインクカートリッジレバーの"PUSH"部分を1個ずつ押して開きます。

インクカートリッジレバー

4 白色の保護カバーを引き抜きます。

白色の保護カバー

■保護カバーの底はインクで濡れています。衣類に付くとシミになりますのでご注意ください。保護カバーを置く前に底をよく拭き取ってください。

5 ブラックカートリッジの袋を開封し、インクカートリッジを取り出します。

6 インクカートリッジの底を上に向け、ゆっくりと密封テープを矢印の方向にはがします。
インクがこぼれたり、手や衣服に付かないように、密封テープは慎重にはがしてください。

ゆっくりはがす

注意
カートリッジのインク開口部やはがしたテープには手を触れないでください。

7 ブラックカートリッジをブラックカートリッジの取り付け位置にゆっくりと取り付けます。

8 インクカートリッジレバーを「カチッ」と音がするまで押し下げます。

9 手順５～８までを繰り返し、各色のインクカートリッジを取り付けます。

10 本体カバーを閉じます。
自動的に約４分間ヘッドのクリーニングが実行されます。

クリーニング　チュウ
↕
オマチクダサイ

注意

- ■インクカートリッジを交換する必要のない場合は、取り外さないでください。取り外した場合は、インク残量が少なくなり、本機がカートリッジのインク残量を把握できなくなります。
- ■インクカートリッジを振らないでください。振ると密封テープを取り除いたときにインクが漏れることがあります。インクが皮膚や服についた場合は、石鹸や洗剤ですぐに洗ってください。
- ■インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクを補充したカートリッジの使用や専用以外のインクの使用はプリントヘッドを損傷する恐れがあります。このような使用による損傷は保証の対象外になります。ブラザー指定以外のインクおよびカートリッジの使用による損傷は保証の対象外になります。指定のブラザーインクカートリッジのみご使用ください。

- ■インクカートリッジを誤って異なる色の場所に取り付けて色が混ざってしまった場合は、インクカートリッジを正しい場所に取り付け、印刷する前にプリントヘッドを数回クリーニングしてください。詳細については、取扱説明書「１０章　日常のお手入れ」の「プリントヘッドをクリーニングする」を参照してください。
- ■インクカートリッジは開封後６ヶ月以内に使い切ってください。また、開封前のものは箱に印字された品質保証期限までにご使用ください。
- ■インクカートリッジを取り付けた後に「ｲﾝｸｷﾞﾚ XXXX」（XXXX はﾌﾞﾗｯｸ、ｼｱﾝ、ﾏｾﾞﾝﾀ、ｲｴﾛｰ）が表示された場合は、インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。

7 印刷品質をチェックします

1 ヘッドのクリーニングが終わると右記のメッセージが表示されます。

```
ｷﾛｸｼ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃ
↕
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

2 カラースタート を押します。印刷品質チェックシートが印刷されます。

3 印刷された「印刷品質チェックシート」を見て、以下のステップ A とステップ B で印刷品質のチェックと印刷ズレを補正します。

印刷品質チェックシート

STEP:A　ヘッドクリーニング

1. 下記の4色（ブラック/シアン/イエロー/マゼンタ）の印刷パターンを見て、印刷品質をチェックして下さい。
2. すべての短い線がきれいに印刷されていれば、'1'（ハイ）ボタンを押してSTEP:Bに進んで下さい。
   もし、消えてしまっている線や、かすれてしまっている線がある場合には、'2'（イイエ）ボタンを押して、問題のある色を液晶ディスプレイのメッセージにて選択し、クリーニングをして下さい。

STEP:B　印刷ズレの補正

1. 下記の600DPIと1200DPIの補正パターンをチェックして下さい。
2. No. 0に最も似ているパターンがNo. 5であれば正常です。'1'（ハイ）ボタンを押してSTEP:Bを終了して下さい。
   600DPI、または1200DPIのパターンで、No. 0に最も似ているものが他の番号であれば、'2'（イイエ）ボタンを押して、それぞれを補正して下さい。
   ・600DPI補正：No. 0に最も似ているパターンの番号を、No. 1~8の中から選択して下さい。
   ・1200DPI補正：No. 0に最も似ているパターンの番号を、No. 1~8の中から選択して下さい。

Step A

Step B

600DPI 0 1 2 3 4 5 6 7 8

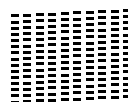
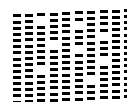
1200DPI 0 1 2 3 4 5 6 7 8

Step A：4 色の印刷パターンによる印刷品質チェック

1 印刷品質チェックシートが印刷されると、右記のメッセージが表示されます。

```
STEP:Aﾊ OKﾃﾞｽｶ?
↕
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ
```

2 シートに印刷された 4 色の印刷パターン（ブラック（黒）・シアン（青）・イエロー（黄）・マゼンタ（赤））の品質を調べます。

3
- 下記の良い例のように、すべての短い線がきれいに印刷されていれば、1 を押してステップ B へ進みます。
- 悪い例の場合は、2 を押して手順 4 へ進みます。

良い例 → Step B

悪い例 → 手順 4

4 悪い例の場合は、ヘッドのクリーニングを行います。

a 右のように液晶ディスプレイにはそれぞれの色ごとに印刷品質が良いかたずねてきます。問題があるすべての色に 2 を押します。

```
ﾌﾞﾗｯｸ OK?
↕
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ
```

b すべての色の確認が終了すると、右のメッセージが表示されます。1 を押すと、クリーニングを開始します。

```
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｶｲｼ?
↕
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ
```

c 「7　印刷品質をチェックします」の手順 1 へ戻ります。

注意　上記の操作でクリーニングしても、正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

Step B : 印刷ズレの補正

1 ステップ B に移ると、付記のメッセージが表示されます。

STEP:Bハ OKデ スカ?
↕
1.ハイ 2.イイエ

2 600dpi と 1200dpi の縦縞パターンを調べ、No.0 に一番近いパターンが No.5 であれば正常です。
1 を押してステップ B を終了します。

0
5　　5

600dpi と 1200dpi の縦縞パターンを調べ、No.0 に最も似ているものが他の番号であれば、2 を押し、以下の a b の手順に従います。

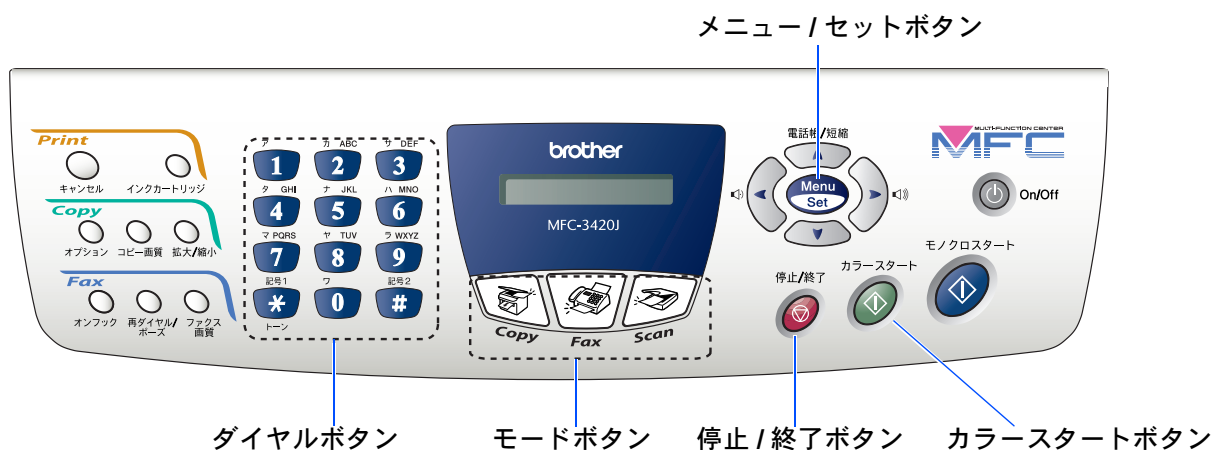
a 600dpi の縦縞パターン（No.1 から No.8）のうち、どの番号が No.0 に一番近いかを確認し、その番号を入力します。

600DPIノ ホセイ
↕
No.ヲ センタクシテクダ サイ

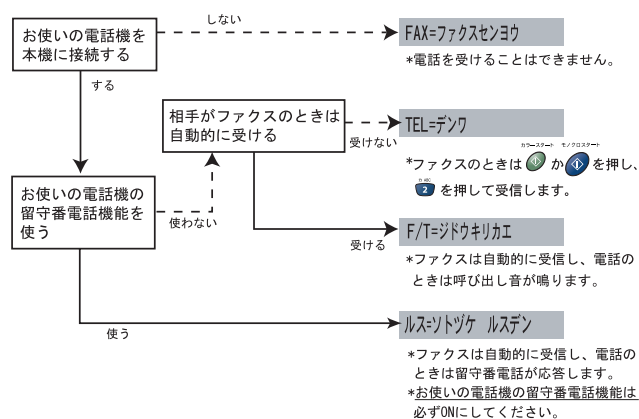
b 1200dpi の縦縞パターン（No.1 から No.8）のうち、どの番号が No.0 に一番近いかを確認し、その番号を入力します。

1200DPIノ ホセイ
↕
No.ヲ センタクシテクダ サイ

メニュー / セットボタン

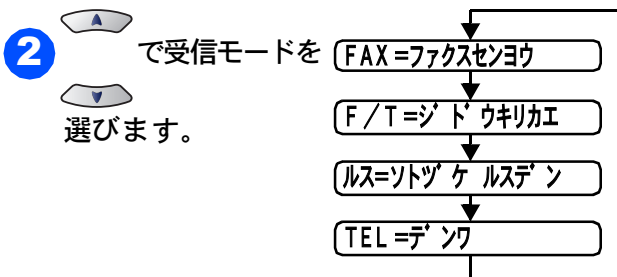
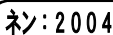
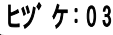
ダイヤルボタン　モードボタン　停止 / 終了ボタン　カラースタートボタン

8 受信モードを選びます

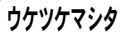
使用目的に応じて、受信モードを選びます。

お使いの電話機を本機に接続する
- しない → FAX=ファクスセンヨウ
  *電話を受けることはできません。
- する → お使いの電話機の留守番電話機能を使う
  - 使わない → 相手がファクスのときは自動的に受ける
    - 受けない → TEL=デンワ
      *ファクスのときは カラースタート か モノクロスタート を押し、2 を押して受信します。
    - 受ける → F/T=ジドウキリカエ
      *ファクスは自動的に受信し、電話のときは呼び出し音が鳴ります。
  - 使う → ルス=ソトヅケ ルスデン
    *ファクスは自動的に受信し、電話のときは留守番電話が応答します。
    *お使いの電話機の留守番電話機能は必ずONにしてください。

受信モードの詳細については、取扱説明書「2 章　ご使用前の準備」の「受信モードを選ぶ」を参照してください。

1 Menu/Set 0 1 を押します。　［1.ジュシンモード］

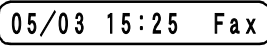
2 ▲ ▼ で受信モードを選びます。
［FAX=ファクスセンヨウ］
［F/T=ジドウキリカエ］
［ルス=ソトヅケ ルスデン］
［TEL=デンワ］

3 Menu/Set を押します。　［ウケツケマシタ］

4 停止/終了 を押して終了します。

9 日付・時刻を合わせます

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はFax モード中の液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクスを送信したとき、発信元登録されていれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1. Menu/Set 0 2 を押します。

   2. トケイ セット

2. 年号（西暦の下 2 桁）を入力します。
   例：2004 年の場合は「04」

   ネン：2004

3. Menu/Set を押して月を 2 桁で入力します。
   例：5 月の場合は「05」

   ツキ：05

4. Menu/Set を押して日付を 2 桁で入力します。
   例：3 日の場合は「03」

   ヒヅケ：03

5. Menu/Set を押して時刻（24 時間制）を入力します。
   例：午後 3 時 25 分の場合は「15:25」

   ジコク：15：25

6. Menu/Set を押します。

   ウケツケマシタ

7. 停止/終了 を押して終了します。

■ 設定終了後、Fax モード中の液晶ディスプレイには右記のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

05/03 15:25 Fax

■ 間違って入力した場合は、停止/終了 を押し、はじめから入力し直してください。
■ 長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう一度現在の日付と時刻に合わせてください。時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1 か月おきに合わせてください。
■ 1 時間以上停電した場合は日付の再設定をしてください。

10 名前とファクス番号を登録します

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 Menu/Set 0 3 を押します。

3. ハッシンモト トウロク
ファクス：

2 ファクス番号を入力し、Menu/Set を押します。
20 桁まで登録できます。

ナマエ：

3 名前を入力し、Menu/Set を押します。
20 文字まで登録できます。

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押して終了します。

■ ファクス番号には数字しか入力できません。先頭のみ " + " が入力できます。（＊を押すと＋が入力されます。）
■ 入力した名前やファクス番号を消すときは、手順 2、3 でそれぞれカーソルを ◀ を使ってはじめまで移動させ、停止/終了 を押すと、入力済みの名前や番号を消すことができます。次ページの「文字の入力のしかた」を参照してください。
■ 入力を間違えたときは、◀ を押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します（上書き）。
■ 挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。
■ 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、▶ を押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。
■ 文字と文字の間に空白を入れるときは、▶ を 2 回押します。

発信元登録の消去のしかた

発信元登録した情報（お客様の名前とファクス番号）を消去します。

1 Menu/Set 0 3 を押します。

3. ハッシンモト トウロク
ヘンコウ 1. スル 2. シナイ
↕
ファクス：000 0000

2 1 を押して「ヘンコウ 1. スル」を選びます。

ファクス：000 0000

3 停止/終了 を押して、登録内容を消去します。

ファクス：

4 Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

5 停止/終了 を押して終了します。

文字の入力のしかた

短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

● 文字の配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り当てられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割り当てられています。

ダイヤルボタン＼押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1						
カ ABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2								
サ DEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3								
タ GHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4							
ナ JKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5								
ハ MNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6								
マ PQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7							
ヤ TUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8							
ラ WXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9							
ワ 0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0										
記号1 * トーン	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	−	.	／	€
記号2 #	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

次ページの **Step2** へ進んでください。

CD-ROM の内容

Windows®

MFC-3420J
インストール
取扱説明書閲覧
サービスとサポート

インストール

MFC/DCP ドライバ	MFC/DCP ソフトウェア	ボーナスソフトウェア
本機を動作させるために必要なプリンタドライバ、スキャナ (TWAIN/WIA) ドライバ、PC-FAX ドライバ、リモートセットアップ（本機の設定を PC からコントロールできる機能。）	・Presto!® PageManager® TWAIN 準拠のスキャナソフトウェアです。カラースキャナ機能や本体操作パネル上にあるスキャンボタンをご使用になる場合に必要です。	・ボーナスフォント ブラザーオリジナルの日本語 TrueType フォントが収録されています。
MFC/DCP ドライバの修復	・Brother OCR	・Adobe Acrobat Reader
本機を動作させるために必要なプリンタドライバ、スキャナ (TWAIN/WIA) ドライバ、PC-FAX ドライバ、リモートセットアップ（本機の設定を PC からコントロールできる機能）を修復できます。	取り込んだ画像を簡単に OCR（光学文字認識）に展開することができるソフトウェアです。スキャン OCR 機能（スキャンして読み取った原稿を自動的にテキスト変換する機能）をご使用になる場合に必要です。	取扱説明書を閲覧するときに使用します。

取扱説明書閲覧

かんたん設置ガイド	取扱説明書
（本書）をパソコン上で閲覧できます。	取扱説明書、取扱説明書～パソコン活用編～の閲覧ができます。

サービスとサポート

ブラザーホームページ	ソリューションセンター	ダイレクトクラブ
ブラザーのホームページへリンクします。	インターネット経由で本機の最新情報を見たり、最新データのダウンロードをすることができます。	インクカートリッジなどが購入できるオンラインショップ「ブラザーダイレクトクラブ」へリンクます。

Macintosh®

Start Here (MacOS® 8.6 ～ 9.2 用)

MFC/DCP ドライバ　インストール

本機を動作させるために必要なプリンタドライバ、スキャナ (TWAIN) ドライバ、PC-FAX ドライバ

Presto!® PageManager® インストール

TWAIN 準拠のスキャナソフトウェアです。カラースキャナ機能をご使用になる場合に必要です。

Start Here OS® X(Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降用)

MFC/DCP ドライバ　インストール

本機を動作させるために必要なプリンタドライバ、スキャナ (TWAIN) ドライバ、PC-FAX ドライバ、リモートセットアップ（本機の設定を PC からコントロールできる機能。USB 接続の場合のみ）

Presto!® PageManager® インストール

TWAIN 準拠のスキャナソフトウェアです。カラースキャナ機能をご使用になる場合に必要です。

Brother Solutions Center

インターネット経由で本機の最新情報を見たり、最新データのダウンロードをすることができるホームページにつながります。

ReadMe !

重要な情報とトラブルシューティングのヒントを得ることができます。

Documentation

・かんたん設置ガイド
（本書）をパソコン上で閲覧できます。

・取扱説明書
取扱説明書、取扱説明書～パソコン活用編～の閲覧ができます。

Fonts

ブラザーオリジナルの和文書体が収録されています。

Step 2 ドライバとソフトウェアをインストールします

本機をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、プリンタドライバやスキャナドライバや付属のソフトウェア等をインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境を確認してください。

■ ドライバとは、本機をプリンタやスキャナとして使用できるようにするためのソフトウェアです。

動作環境

Windows®

OS ／ CPU ／メモリー

Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional
Pentium®II プロセッサ（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB（推奨 128MB）以上

Windows® XP
Pentium®II プロセッサ 300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB（推奨 256MB）以上

ディスク容量

310MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェイス

USB 1.1/2.0 標準搭載モデルのみ対応しています。
※ USB ケーブルは市販品のものをお使いください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

■ メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
■ Windows® 2000 Professional/XP を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。
■ USB 接続は、次のパソコンに対応しています。
・ Windows®98/98SE/Me/2000/XP のプレインストールモデル
・ 以下のアップグレードモデル
Windows®98/98SE → Windows®Me/2000/XP
Windows®Me → Windows®2000/XP
Windows®2000 → Windows®XP

Macintosh®

OS ／ CPU ／メモリー

Mac OS® 8.6~9.2 / 32MB(推奨 64MB) 以上
Mac OS® X 10.1~10.2.1 以降 /128MB(推奨 160MB) 以上

ディスク容量

280MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェイス

USB標準搭載モデルのみ対応しています。
※ USB ケーブルは市販のものをお使いください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

注意
■ Mac OS® 9.0.2/9.0.3 をお使いの場合は、Mac OS® 9.0.4 にアップグレードが必要になります。
■ Mac OS® 10.2 をお使いの場合は、Mac OS® 10.2.4 以降へのアップグレードが必要になります。

● OS 対応表
お使いいただいているパソコンの OS によって本機で使用できる機能が異なります。
Mac OS® 8.6 ～ 9.2、Mac OS® X 10.1/10.2.4 以降

	Mac OS®		Mac OS® X	
	8.6	9.X	10.1	10.2.4 以降
プリンタ	○	○	○	○
スキャナ (TWAIN)	○	○	×	○
Presto!® PageManager®	○	○	○	○
PC-FAX	○	○	○	○
リモートセットアップ	×	×	○	○

*1: 本機は Mac OS® X のクラシック環境では動作しません。Mac OS® X の「システム環境設定」「起動ディスク」より Mac OS® 9 システムを選択して再起動してください。

Windows®

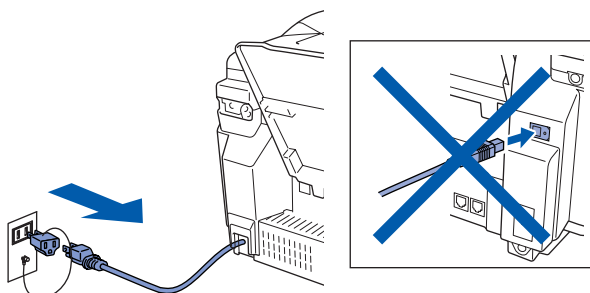
・Windows® をお使いの方はドライバをインストール後ソフトウェアをインストールします。（30 ページ）

Macintosh®

Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP ユーザの方

インストールを開始する前に、本機の設定（6 ～ 19 ページ）が終了していることを確認してください。

1 本機の電源コードをコンセントから外します。

注意 この時点では USB ケーブルは接続しないでください。

注意 ■ ドライバのインストールを行うときは、必ずすべてのメモリーカードを抜いた状態で行ってください。

2 パソコンの電源を入れます。
Windows® 2000 Professional/XP をご使用の場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンする必要があります。

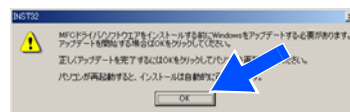
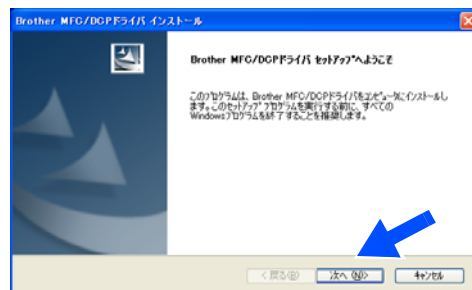
3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

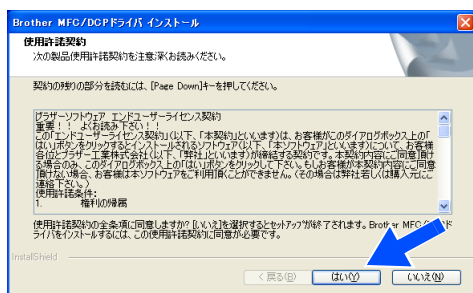
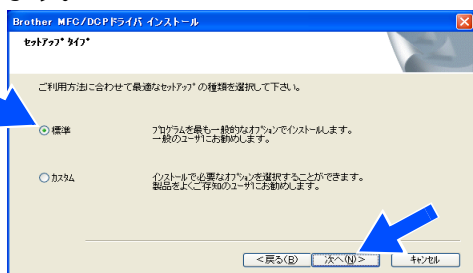
画面が表示されないときは「マイ コンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

a お使いのモデルをクリックします。

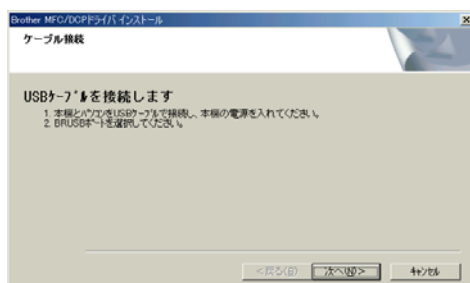
b 「インストール」をクリックします。

c 「MFC/DCP ドライバ」をクリックして、インストールを開始します。

もし下の画面が表示されたら「OK」をクリックします。Windows® がアップデートされ、パソコンが再起動されます。

d 「次へ」をクリックします。

上記画面インストール中にエラーメッセージが表示された場合、すでにインストールされている Brother MFC/DCP ドライバをアンインストールする必要があります。スタートメニューから［プログラム］－［Brother］－［Brother MFC/DCP］－［アンインストール］の順に選択し、画面に表示される指示に従ってください。アンインストール後、再度手順 1 からやりなおしてください。

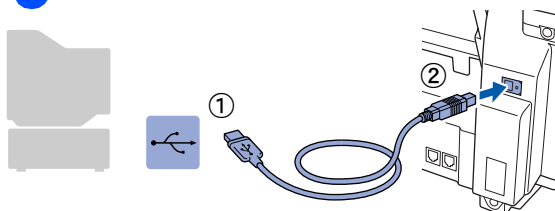
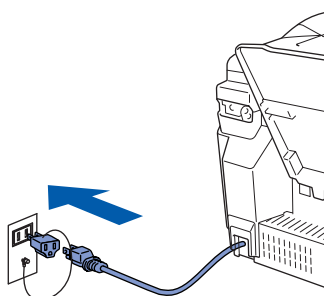
e 使用許諾契約の画面が表示されます。
「はい」をクリックします。

f 「標準」を選択し、「次へ」をクリックします。

Windows® 98/98SE/Me ユーザの方
→ 26 ページへお進みください。
Windows® 2000 Professional ユーザの方
→ 28 ページへお進みください。
Windows® XP ユーザの方
→ 29 ページへお進みください。

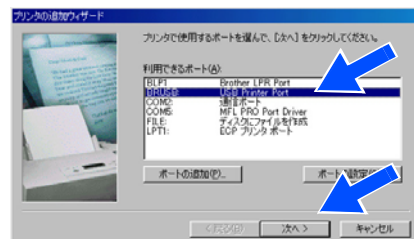
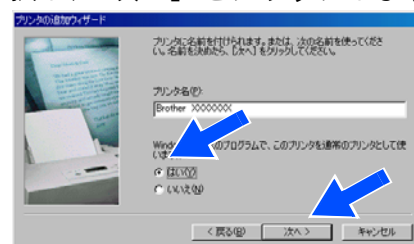
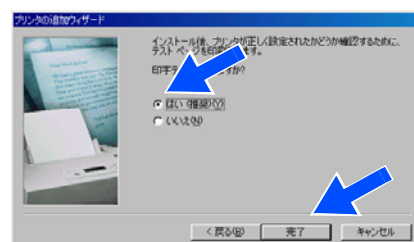
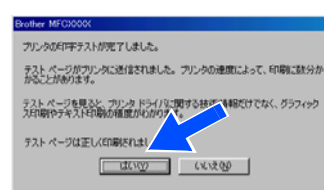
Windows® 98/98SE/Me ユーザの方

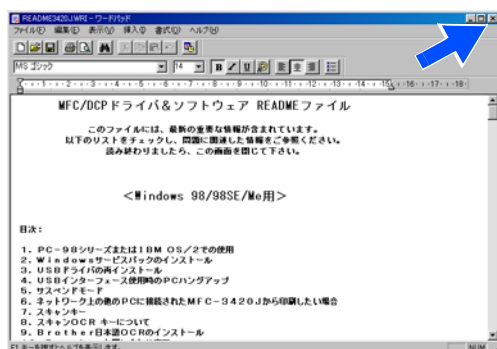
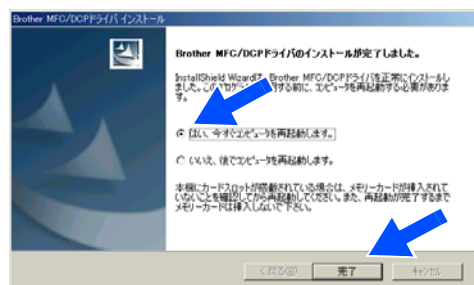
手順の 1 から 3 の作業（24 ～ 25 ページ）が終了していることを確認してください。

4 ケーブル接続画面が表示されます。

5 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

a パソコンに USB ケーブルを接続します。

b 本機に USB ケーブルを接続します。

6 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。
インストールが継続されます。（インストール画面が表示されるまでに数分かかります。）

7 画面の指示に従って操作します。

a 「BRUSB:USB Printer Port」を選択し、「次へ」をクリックします。

b プリンタ名を確認した後、「はい」を選択し、「次へ」をクリックします。

c 「はい」（推奨）を選択し、「完了」をクリックします。

d テストページが正しく印刷されたことを確認し、「はい」をクリックします。

手順 e の「Read Me」および手順 f の完了画面が表示されたときは、テストページの印刷終了後「Read Me」を閉じ「完了」をクリックしてください。

e Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[×] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。

f 「はい」を選択し、「完了」をクリックします。

OK! **MFC/DCP** ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「**MFC/DCP** ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

MFC/DCP ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの「MFC/DCP ドライバの修復」から再度インストールをやり直してください。

→ 30 ページへお進みください。

Windows® 2000 Professional ユーザの方

手順の 1 から 3 の作業（24 ～ 25 ページ）が終了していることを確認してください。

4 ケーブル接続画面が表示されます。

5 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

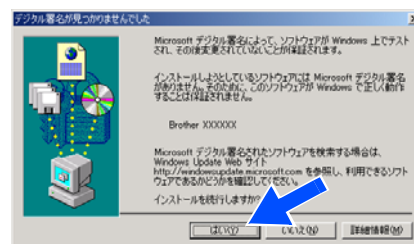
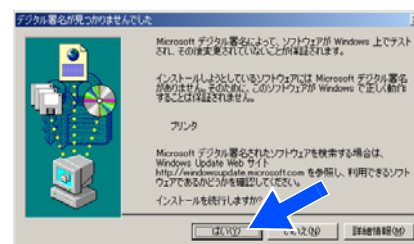
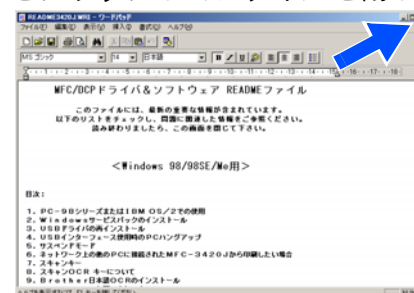
a パソコンに USB ケーブルを接続します。

b 本機に USB ケーブルを接続します。

6 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。
インストールが継続されます。（インストール画面が表示されるまでに数分かかります。）

電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に MFC/DCP ドライバがインストールされます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのましばらくお待ちください。

7 画面の指示に従って操作します。

a 「はい」をクリックします。

b 「はい」をクリックします。

c Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[×] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。

d 「はい」を選択し、「完了」をクリックします。

OK! **MFC/DCP** ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「**MFC/DCP** ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

MFC/DCP ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの「MFC/DCP ドライバの修復」から再度インストールをやり直してください。

→ 30 ページへお進みください。

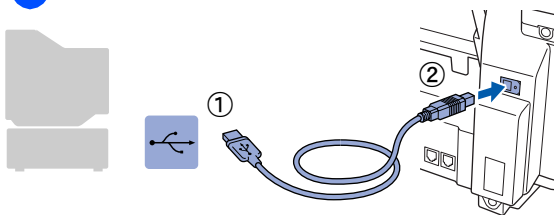
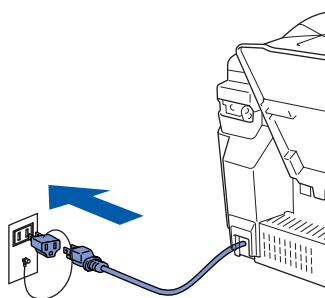
Windows® XP ユーザの方

手順の 1 から 3 の作業（24 ～ 25 ページ）が終了していることを確認してください。

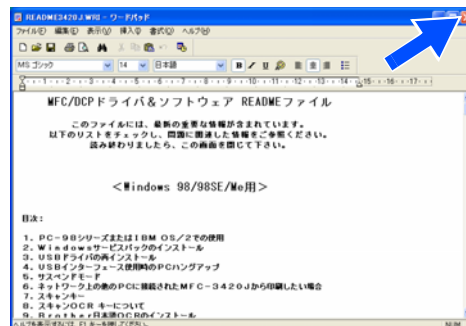
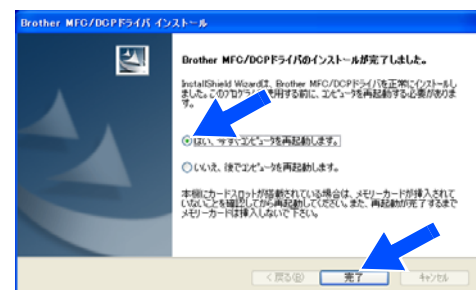
4 ケーブル接続画面が表示されます。

5 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

a パソコンに USB ケーブルを接続します。

b 本機に USB ケーブルを接続します。

6 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。
インストールが継続されます。（インストール画面が表示されるまでに数分かかります。）

電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に MFC/DCP ドライバがインストールされます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

7 画面の指示に従って操作します。

a Read Me 画面が表示されます。表示された内容をよく読みます。[×] ボタンをクリックしてファイルを閉じます。

b 「はい」を選択し、「完了」をクリックします。

OK! **MFC/DCP** ドライバのインストールは完了しました。パソコンが再起動しますので、引き続き「**MFC/DCP** ソフトウェアをインストールする」にお進みください。

MFC/DCP ドライバを手順どおりにインストールできない場合は、CD-ROM メニューの「MFC/DCP ドライバの修復」から再度インストールをやり直してください。

→ 30 ページへお進みください。

MFC/DCP ソフトウェアをインストールします

ドライバのインストールが完了していることを確認してください。
（ドライバのインストールが完了していない方は、20 ページへお進みください。）

本機のスキャンボタン機能を使用したい場合は、以下のソフトをインストールする必要があります。

- Presto! ® PageManager®（スキャナソフトウェア）
- Brother OCR（光学文字認識ソフトウェア）

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに再度セットします。

画面が表示されないときは「マイ　コンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Setup.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。

a お使いのモデルをクリックします。

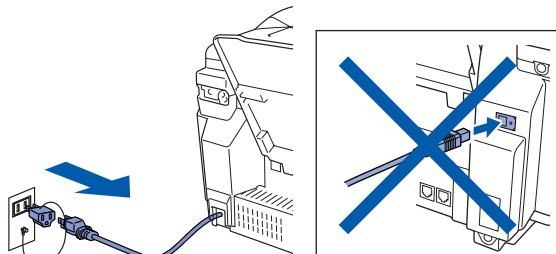
b メイン画面から「インストール」をクリックします。

c 「MFC/DCP ソフトウェア」をクリックし、画面の指示に従ってインストールします。

OK! ソフトウェアのインストールは完了しました。

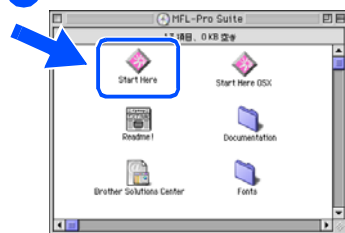
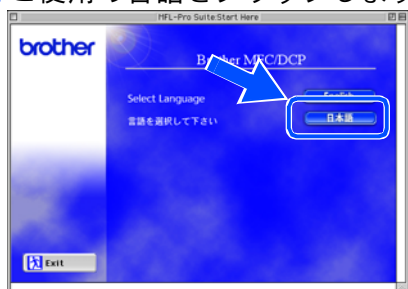
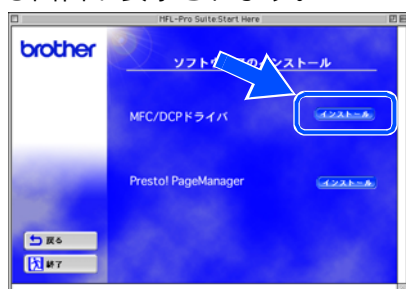
Mac OS® 8.6 ～ 9.2 ユーザの方

インストールを開始する前に、本機の設定（6 ～ 19 ページ）が終了していることを確認してください。

1 本機の電源コードをコンセントから外します。

2 Macintosh® の電源を入れます。

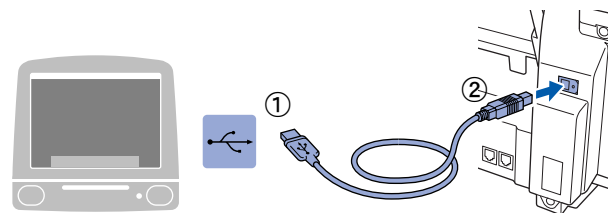
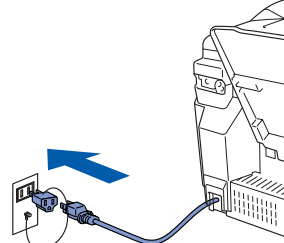
3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

4 MFC/DCP ドライバをインストールします。

a 「Start Here」をダブルクリックします。

b ご使用の言語をクリックします。

c MFC/DCP ドライバの「インストール」をクリックします。インストールが完了すると Macintosh® の再起動を指示する画面が表示されます。

5 Macintosh® を再起動します。
Macintosh® を再起動すると、Macintosh® は新しいドライバを認識することができます。

6 本機と Macintosh® を USB ケーブルで接続します。

a Macintosh® にUSBケーブルを接続します。

b 本機に USB ケーブルを接続します。

7 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

8 プリンタを選択します。

a 「アップル」メニューから「セレクタ」を選択します。

b インストールした「Brother Ink」アイコンをクリックします。（アイコンの色が強調表示されます。）

c 「セレクタ」の右の欄にあるプリンタ名を選択します。

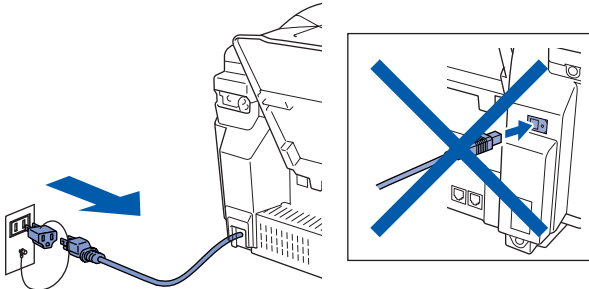
d 「セレクタ」を閉じます。

Presto! ® PageManager® は必要に応じてインストールしてください。
インストール手順
1. Start Here アイコンをダブルクリックします。
2. Presto! ® PageManager® のインストールボタンをクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールします。

OK! **MFC/DCP ドライバのインストールは完了しました。**

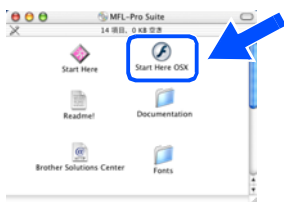
Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降ユーザの方

インストールを開始する前に、本機の設定（6 ～ 19 ページ）が終了していることを確認してください。

1 本機の電源コードをコンセントから外します。

2 Macintosh® の電源を入れます。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

4 MFC/DCP ドライバをインストールします。

a 「Start Here OS X」をダブルクリックします。

b ご使用の言語をクリックします。

c 「MFC/DCP ドライバインストール」をクリックします。インストールが完了すると Macintosh® の再起動を指示する画面が表示されます。

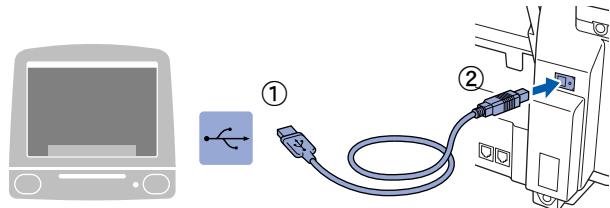
5 Macintosh® を再起動します。
Macintosh® を再起動すると、Macintosh ® は新しいドライバを認識することができます。

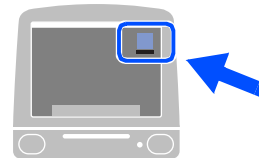
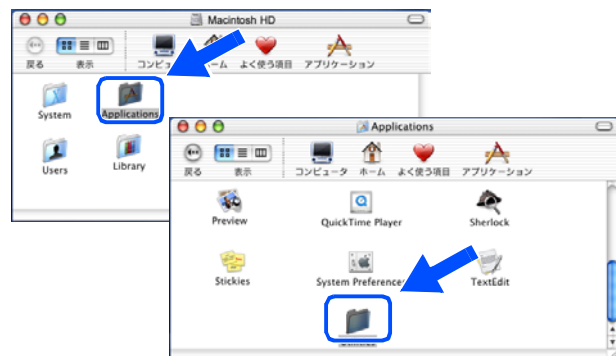
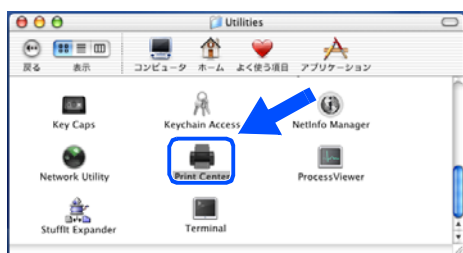
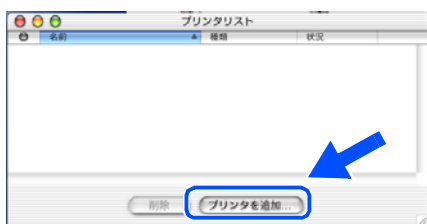
6 本機と Macintosh® を USB ケーブルで接続します。

a Macintosh® に USB ケーブルを接続します。

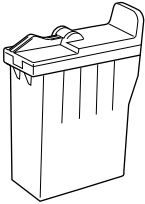
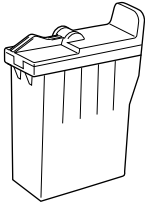
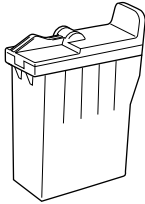
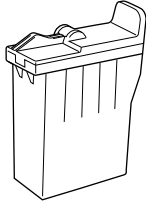
b 本機に USB ケーブルを接続します。

①

②

7 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

8 「Macintosh HD」アイコンをダブルクリックします。

9 「Applications」フォルダを開き、「Utility」フォルダをダブルクリックします。

10「Print Center」アイコンをダブルクリックします。

11「プリンタを追加 ...」アイコンをダブルクリックします。

12「USB」を選びます。

13「MFC-3420J」を選び、「追加」をクリックします。

14「Print Center」メニューから「Print Center を終了」を選びます。

Presto! ® PageManager® は必要に応じてインストールしてください。
インストール手順
1. Start Here OS® X アイコンをダブルクリックします。
2. Presto! ® PageManager® のインストールボタンをクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールします。

OK! **MFC/DCP** ドライバのインストールは完了しました。

消耗品

インクカートリッジ

ブラック	マゼンタ	イエロー	シアン
LC08BK	**LC08M**	**LC08Y**	**LC08C**